

## 地域の皆さまへの説明会 平成27年1月 「ニュースアトム」のはがきによるご質問と回答

### 【ご質問】

避難計画の策定について、なぜ新潟県は遅れているのか？東電も当事者として関与すべき。

### 【回答】

- ・ 柏崎市と刈羽村では、避難計画が策定され、周知されており、この避難計画に基づき、各種対策が講じられることになると認識しています。
- ・ 一方、UPZ内の他の自治体の避難計画作成については、自治体からのご要請があれば、できる限りご支援をさせていただきたいと考えており、当社はこれまでも、避難計画作成に対するご協力の一環として、「新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会」や「市町村による原子力安全対策に関する研究会」などで、発電所の安全対策や事故シナリオ、事象進展などの説明、他電力や自治体の状況の情報共有などを行っており、その中で当社へのご要望をお聞きしています。
- ・ また、昨年11月11日に行われた新潟県と合同の原子力防災訓練にも原子力事業者として参加させていただき、地元自治体の皆さまと連携した訓練をさせていただきました。
- ・ これからも、引き続き当社にできる限り最大限のご協力を実施してまいりたいと考えております。

### 【ご質問】

福島汚染水は大丈夫なのか？

### 【回答】

- ・ 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う当社福島第一原子力発電所の事故により、立地地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけしていることにつきまして、心より深くお詫び申し上げます。
- ・ 汚染水については、「取り除く」「近づけない」「漏らさない」の3つの基本方針にそって、さまざまな対策を進めています。
- ・ 汚染源を「取り除く」施策としては、例えば、最新設備（多核種除去設備など）を用いて、タンクに貯めている高濃度汚染水からトリチウム以外の放射性物質を除去し、濃度を十分に低くします。
- ・ 汚染源に水を「近づけない」施策としては、例えば、凍土方式（土を凍らせる方法）による地下水の流入を防ぐ「陸側遮水壁」の設置や、建物に流れ込む前に地下水を汲み上げ海に放水する「地下バイパス」等を行い、汚染水になる量を減らします。なお、汲み上げた水は一旦タンクに貯留し、「運用目標を満たしているか」の分析を、当社および第三者機関で実施します。また、タンクに貯留した水は、その水質が運用目標未達であることを確認したうえで、海洋に排水します。（運用目標を超える地下水の排水は行いません。）
- ・ 汚染水を「漏らさない」施策としては、例えば、「福島第一」の護岸に、鋼管製の杭

を打って「海側遮水壁」をつくり、汚染水を海に漏らさないようにします。

- ・この3つの基本方針に基づいて対策を進め、避難されている方々のご帰還の実現および国民の皆さまが安心して生活いただけるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。
- ・なお、汚染水対策については当社ホームページでも詳しくご紹介しております。  
<http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/waterprocessing/>

以 上